

政策調整会議の概要

開催日 平成27年1月8日(木)

◎項目

- 1 行政改革プランと県政改革アクションプランを統合した次期プランの骨子案について【総務部】
- 2 高知県の経済概況について【総務部】
- 3 各部局等の主要な取り組みについて【各部局等】

◎内容

- 1 行政改革プランと県政改革アクションプランを統合した次期プランの骨子案について【総務部】

総務部から、資料に基づき行政改革プランと県政改革アクションプランを統合した次期プランの骨子案について概要説明が行われた。

【主な説明概要】

(総務部)

- ・ 平成22年3月に高知県行政改革プランを策定し、本年度までを計画期間として官民協働で取り組み、一定の成果が表れてきているが、やらなければならないことは山積しており、引き続き取り組みの継続が必要であろうということで、平成27年度以降の次期プランを策定していきたいと考えている。その際には、高知県行政改革プランと県政改革アクションプランを統合した形で策定していきたいと考えている。
- ・ 骨子案の大きな構成としては、まず1番目に「はじめに」の部分で、現状と課題を踏まえた上で、高知県の目指すべき姿と県庁の目指すべき姿を掲げ、それらを実現するための6つの柱ということで、「取り組み姿勢・意識」、「組織づくり」、「人材育成」、「財政の健全化」、「行財政改革」、「コンプライアンス」について記載している。
- ・ 骨子案の構成としては、それぞれの柱ごとに大項目、中項目、小項目を記載し、小項目にはそれぞれ具体的な取り組みを幾つか掲げている。
- ・ 本日以降、この次期プランの骨子案に対する意見や、幾つか掲げている小項目に関して、県庁が目指すべき姿を実現するための具体的な取り組みについての提案や既に所属で取り組んでいる内容の紹介をいただきたいと考えている。

- 2 高知県の経済概況について【総務部】

総務部から、資料に基づき高知県の経済概況について概要説明が行われた。

【主な説明概要】

(総務部)

- ・ 11月分の新車の販売台数は5ヶ月連続のマイナスで2,085台となっている。内訳は、普通車が373台、小型車が491台、軽自動車が1,221台ということで、普通車は5ヶ月連続のマイナスとなっているが、軽自動車は5ヶ月ぶりのプラスとなって

いる。

- ・ 11月の主要観光施設入込客数は21万5,000人で、8ヶ月ぶりにプラスとなった。なお、参考として、大きなイベントのなかった平成21年比では7ヶ月ぶりにプラスとなっている。
- ・ 11月分の有効求人数は1万2,403人で1.0%の減少となり、2ヶ月連続のマイナスとなっている。新規求人数についても2ヶ月連続のマイナスとなった。
- ・ 11月の有効求人倍率は0.85倍で、0.01ポイントの上昇となった。全国は1.12倍で0.02ポイント上昇となっている。

3 各部局等の主要な取り組みについて【各部局等】

総務部が取りまとめた各部局等の主要な取り組みに関する資料を配付の上、各部局による概要説明が行われた。

【主な説明概要】

(地域福祉部)

1月9日に要保護児童対策地域協議会連絡会議研修会を行う。要保護児童対策地域協議会は、虐待を受けている保護を要する子どもを早期に発見し、関係機関が連携して適切な支援を行う地域のネットワークであり、児童虐待防止をするうえで非常に重要な役割を果たしている協議会である。この協議会のネットワークの構成員を対象とした実践的な研修会を行うようにしている。

これと関連して、昨年末に3歳の児童が実母と叔母から暴行を受けて死亡するという大変痛ましい事件が発生した。これは高知市の要保護児童対策地域協議会で支援をしていたケースである。今後の対応として、県と高知市が合同で外部の有識者による検証委員会を1月中旬に設置し、今回の事件に至った原因等の検証、あるいは再発防止策の検討を行うこととしている。5月中旬に検証委員会の取りまとめを行う予定である。この検証委員会の中でも、市町村における支援のあり方などがポイントになってこようかと思っている。

(文化生活部)

現在、4月の永国寺キャンパスのオープンに向けて取組を進めている。教育研究棟などの工事は予定どおり進んでいる。

教育内容については、文化学部で定員増、社会人が働きながら学位を取得できる夜間主コースの設置、高知工科大学の経済・マネジメント学群を永国寺キャンパスに置くことで、結果として同キャンパスは昨年4月よりも250人多い学生でにぎわうこととなる予定である。さらに、この永国寺キャンパスには産学官民連携センターを設置して、連携に関する相談窓口の設置や交流機会の創設、人材育成といった機能を果たすことで、産業振興や地域の課題解決につなげていきたいと考えている。

(東京事務所)

1月24日に行われる土佐の神楽(本川神楽保存会)での観光PRが行われる。本川神楽保存会からのアプローチではなく、国立劇場から本川神楽保存会に依頼があり、「土佐の神楽」と題して「山深き本川の地に伝わる夜神楽」を予定しており、この場で観光PRも併せて依頼を受けたので、東京事務所が対応する予定となっている。